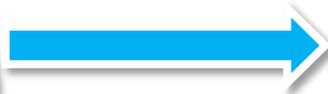
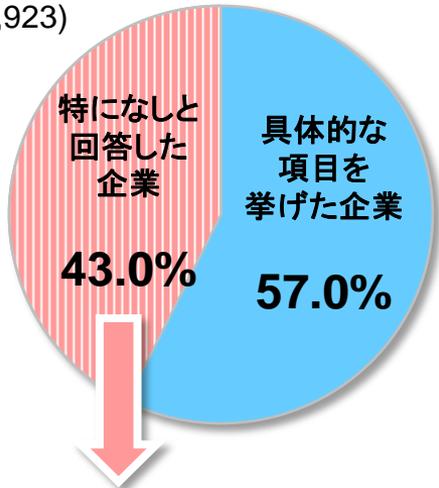


6. 新型インフルエンザ(1)

新型インフルエンザの流行により、
対応に困ったこと

(n=2,923)



各地域の困ったこと上位3項目 (%)

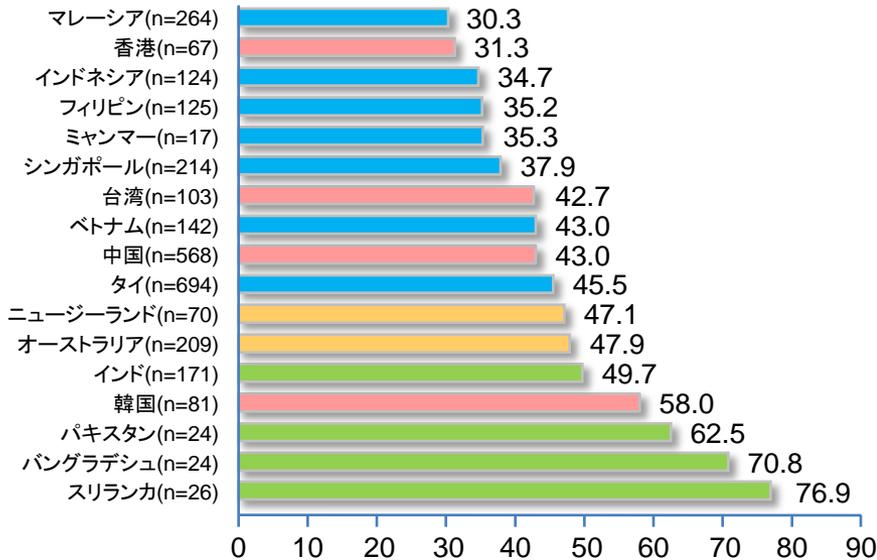
	第1位	第2位	第3位
ASEAN n=1,580	抗インフルエンザ薬の入手 20.8	駐在員・家族の退避の判断 18.9	事業場の訪問者に対する健康チェック 18.5
南西アジア n=245	抗インフルエンザ薬の入手 22.0	マスクの入手 12.2	駐在員・家族の退避の判断 11.4
オセアニア n=279	蔓延国から帰国した社員の健康観察 20.1	想定されていた病原性と対策の乖離 15.1	家族の罹患などに伴う従業員の欠勤 14.3
北東アジア N=819	抗インフルエンザ薬の入手 25.8	駐在員・家族の退避の判断 20.6	事業場の訪問者に対する健康チェック 16.7

地域全体では、抗インフルエンザ薬の入手を困難と感じている企業が多い。他方、オセアニアでは、蔓延国から帰国した社員の健康観察を困難とする企業の割合が最も高い。



新型インフルエンザに向けての具体的対策 (%)

	第1位	第2位	第3位
ASEAN n=1,585	咳エチケットや手洗い等の健康教育	日用品やマスク、消毒薬等の備蓄	マニュアルの作成
2009	63.2	58.6	25.9
n=661 2008	50.8	22.7	32.5
南西アジア n=246	咳エチケットや手洗い等の健康教育	日用品やマスク、消毒薬等の備蓄	マニュアルの作成
2009	51.6	36.6	30.5
n=109 2008	49.5	21.1	32.1
オセアニア n=281(2009)	咳エチケットや手洗い等の健康教育	日用品やマスク、消毒薬等の備蓄	出張の制限
	55.9	39.2	32.7
北東アジア n=822(2009)	咳エチケットや手洗い等の健康教育	日用品やマスク、消毒薬等の備蓄	マニュアルの作成
	63.1	60.8	35.9

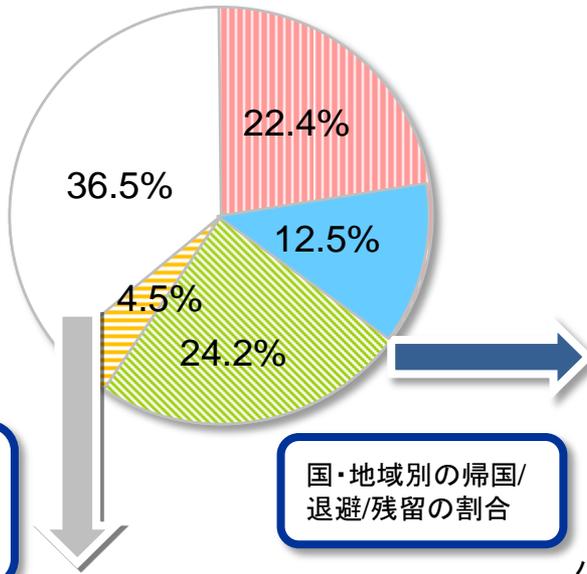


6. 新型インフルエンザ(2)

新型インフルエンザが強毒化し
高い致死率(2%程度)となった場合の対応

(n=2,882)

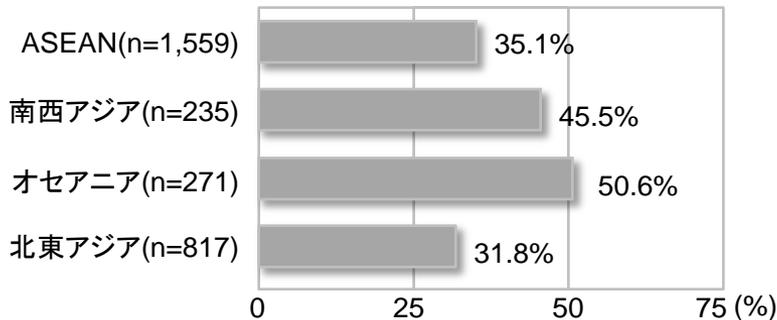
- 一部の駐在員のみ
帰国あるいは
周辺諸国に退避
- 早期に帰国あるいは
周辺諸国に退避
- 現地に残留
- その他
- 不明



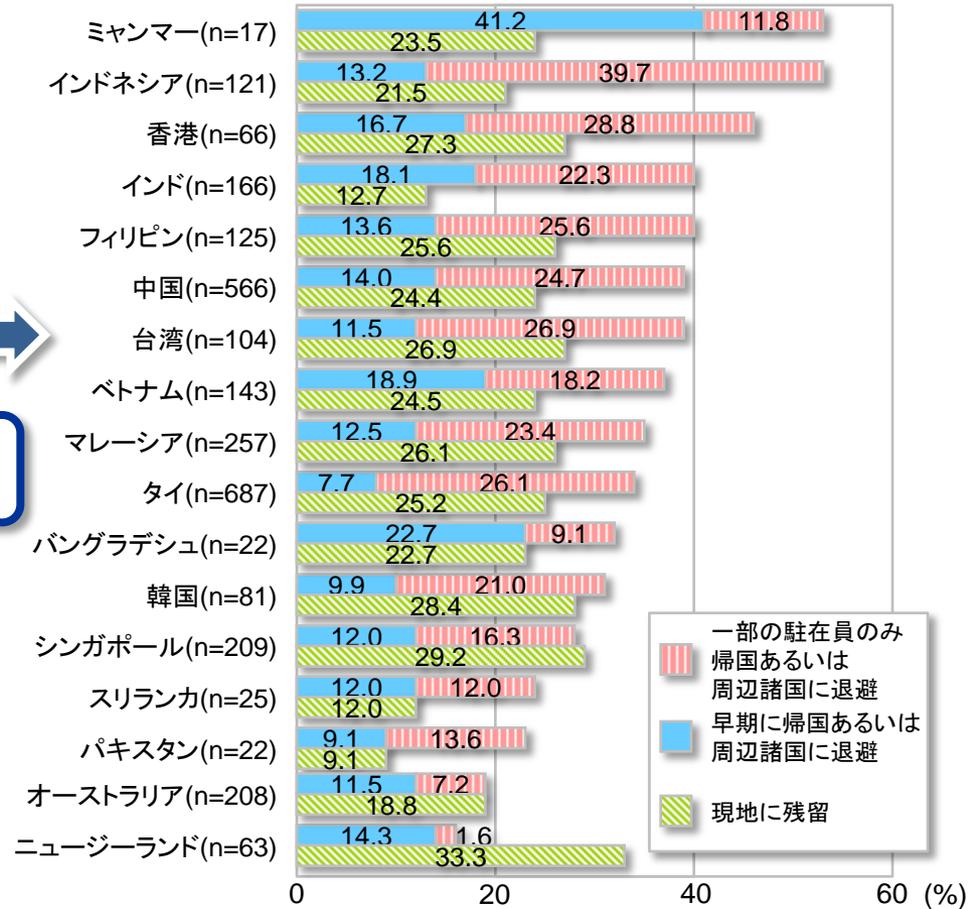
「不明」と回答した企業の割合(地域別)は、ASEANと北東アジアが相対的に低い。

国・地域別の帰国/退避/残留の割合

各地域の不明と回答した企業の割合



各国の残留 or 退避と回答した割合



- オセアニア(オーストラリア、ニュージーランド)を除くすべての国・地域で、退避を計画している企業の割合が、残留の割合を上回った。
- インドネシアや香港では「退避」が多く、危機意識の高さを反映。